

# 山行報告書

報告書作成

11.7.4

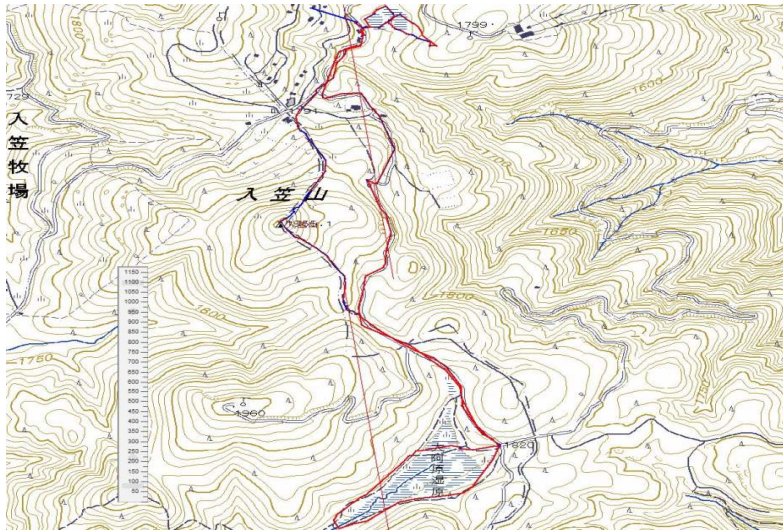
山名 [山域]	入笠山1955m	目的と方法	お花鈴蘭と展望と登山を楽しむ
登山期間	6月19日(日)	山行形態	日帰りハイキング
参加人数	5人		

## 行動記録

◇6月19日(日)

岡崎市民病院P(530)発＝岡崎IC＝駒ヶ岳SA(700.730)＝諏訪南IC(745)＝やまびこ荘P(940.955)＝入笠山 1955m(1030)＝大阿原湿原(1100.1200)＝入笠湿原(1300.1400)＝やまびこ荘P(1405.1415)＝さくらの湯(1445.1600)＝伊那IC(1620)＝岡崎IC(1845)＝岡崎市民病院P(1900)

## 概念図



## 日誌

5時半に岡崎市民病院Pに集合。雨の予報もあったが降ってはならずホッとする。当初の予定通り8時20分に沢入登山口の入口に到着するが、既に満車ということで迂回してやまびこ荘の側の駐車場へ。現地も雨は降ってない。9時40分に駐車場に到着するとたくさんの人が目の前の湿原でスズランを鑑賞していた。9時55分、目の前の入笠湿原を横目に入笠山山頂を目指すことに。歩き始めると、鹿防止のネットが張り巡らされており、こんなところに鹿がいるとは思わずに驚いた。約30分足らずの登り道、噂にあった『岩場』も3歩で乗り越え、しばらくするとあっけなく山頂に出た。比較的広い頂上は完全にガスっていて見渡す限り真っ白で眺望はまったくない。それでもたくさんの人が休憩や記念撮影で賑わっていた。記念撮影を済ませ、そのまま

山頂を通過して大阿原湿原に向かい下山を開始。森の中をしばらく歩き、舗装路へ出て、しばらく歩くと大阿原湿原に着いた。少し早いですが、ここで昼食になった。30分ほど休んで、湿原の外周沿いに木で作られてる約2キロの遊歩道を一周する。入笠湿原とは違って人が少なく空気もひんやりしており心地良かった。花などはあまりないが、湿原らしい湿原で、小さな沢や苔などが涼しさを増してくれた。天気が良かったらもっと良かったが、曇りの湿原も趣があってよかった。途中で、木からトロロ昆布のようなものが垂れ下がっており、綺麗だなと思ったら、サルオガセという寄生植物でカラマツなどを枯らしてしまうと知らされて驚いた。木を枯らしてしまう植物が綺麗に見えるのもなんだか複雑な気分がした。大阿原湿原を後にして、舗装路を歩き入笠湿原に戻り、いよいよスズランの鑑賞。すれ違うのがやっとの遊歩道を一周したが、あまりスズランを見つけることが出来ずにつかりしていると看板に『100万本のスズランはあちらに』と書いてあり、遊歩道を外れ坂道に移動する。坂道の両脇にたくさんのスズランが咲いており、たくさんの人が座り込んで写真を撮っていた。100万本というだけあって、本当にたくさんのスズランが咲いており綺麗で可愛らしかった。正直、花の名前は全く知らないため、本物のスズランを見るまでスズランという花すら知らなかったが、やっと本物を見ることができ実物と名前を一致することができた。個人的には、この会で初めての山行で不安もあったが延々と続く駄洒落攻めもあり楽しく過ごせた。今後は皆さんの名前と顔を一致させていければと思った。